



日本共産党港区議会議員

星野たかし

区政報告

No.96
2004年
11月

日本共産党港区議団

港区芝公園1-5-25

TEL(3578)2945 FAX(3578)2947

《連絡先》3449-1202 (星野自宅)

[HP]http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

[Eメール]hosino@jcp-minatokugidan.gr.jp

港区議会は九月十六日から二十一日間の日程で第三回定例会が開かれました。日本共産党の代表質問は猪熊正一区議、一般質問は北村利明区議が行いました。六人の党議員団は各常任委員会、特別委員会、決算委員会でそれぞれ区民要望実現に全力をあげました。決算委員会の総括質問で星野区議の質問に区長は「子ども医療費無料化を来年四月から中学三年生まで拡大する」と答弁しました。また、港区はじめての「コミュニティバス」が十月からスタートしましたが、高齢者、障害者などの無料利用など、共産党などの提案で実現しました。星野区議が所属する建設委員会では、前定例会に続いて高層建築などに関する請願が住民から多く提出され、星野区議は「採択」に奮闘しました。

4月から医療費無料を中学生まで拡大 党区議団の質問に四月実施を約束

港区長は、決算委員会で党議員の質問に答え、「来年四月から中学三年生までの通院・入院医療費を無料にする」ことを明らかにしました。

四月から実施される中学生までの医療費助成制度は、保険で適用されるすべての医療費が無料になり、「子ども医療証」が発行され、窓口での支払いはありません。また、ひとり親家庭等の医療費助成の対象者で、住民税課税世帯（入院時食事療養費が自己負担）の家庭にも「子ども医療証」が発行され、食事療養費負担がなくなります。

党区議団は、今年一月小学六年生までの医療費を無料にする条例を提案するため、すべての党派に共同提案をよびかけ、党区議団六名を含む九名で、条例提案



前都議会議員

くぼた光(談)



港区で中学生までですべての医療費が無料になることは画期的なことです。所得制限もなしということ、全国でも最高レベルの制度実現となります。

私は党区議団とともに、保護者のみなさんの声を聞いてきました。「急に熱が出たり、ケガをしたりで、医療費がかなりかかる。なんとか無料制度を拡充して」との要求を実現できて本当につれしく思います。都の所得制限をなくすこと、国の制度とさせることなど、引き続きがんばります。

(星野区議が決算委員会で質問した主な項目)



- 「支所改革」は区民本意に小・中学校、幼稚園の全室に空調設備を白金六丁目の悪質な違法建築の撤去を四の橋交差点歩道信号の改善を 防災無線の難聴対策を緊急に 高齢者の仕事確保のためシルパー人材センターへの支援強化を 超高層建築に歯止めを 障害者対策の強化を 複合電波障害対策に事業者の負担を求めよ。

決算委員会傍聴記

白金 Bさん

今回初めて決算委員会を傍聴いたしました。質問は、私たちの身近な問題はかりでしたので大変興味深く、時間があつという間に過ぎてしまいました。少しの時間でしたが議会の雰囲気を感じることが出来ました。また共産党の議員の方が、前回の区議会で採択された違法建築撤去の請願の件を取り上げてくださり、区としての今後の対処について追求してくださったことに大変感謝しております。特に地域の環境問題にはいつもお力添えくださり心強く思っております。

台風被害 くぼた

前都議が対策に奔走

くぼた光日本共産党前都議は星野区議とともに十月十日、台風二十二号の豪雨で被害を受けた白金地域の住民を訪ね、お見舞いをすると同時に要望を聞きました。

住民からは「古川の水位があつという間に上がった。恐ろしかった。」「昔は洪水などまねだつた。いまは繰り返して起きています。抜本改善してほしい。」「消毒を急いで。」「ゴミの回収をしてほしい。」「ゴミの回収をしてほしい。」「など東京都や港区への意見や要望が多く出され、緊急要望については区防災課、港保健所へ対策の為の連絡をとりました。くぼた前都議と星野区議は被害の実態と訪問で出された住民からの意見・要望をまとめ、港区に対策を求めました。



台風に備え土のうを積み上げる(白金1丁目)

なんでも相談会

11月25日(木) 午後7時より 白金福祉会館・集会室D(和室)
弁護士・区議が対応いたします。 連絡先...星野自宅TEL:3449-1202 区議会控室TEL:3578-2945



泥流に埋もれた家屋と自家用車(三池地区)

三宅島に日本共産党調査団
安全・安心の帰島実現を
東京・三宅島の噴火災害にともなう全島避難から四年余を経て、来年二月に村民の帰島をめざす三宅島の現状と課題を把握するため、日本共産党の調査団(団長・山口富男衆議院議員)は十五日、三宅島を現地調査しました。調査には港区議員団からは星野・いのくま両区議が参加しました。
島内は都道など一部復旧はされているものの、いまだに火山ガスの噴出、火山灰に埋もれた家屋など深刻な状態です。港区内には約百名の三宅村民の方々が帰島への希望と不安の中で避難生活をおくっています。党区議団は住宅・就業など村民が安心して帰島できる対策を国や都がとるよう強く求めていきます。

高齢者の無料入浴券 来年から郵送に変更

高齢者の無料入浴券の利用者は、わざわざ区役所まで取りに來なければなりませんでした。予算委員会の中で「高齢者を何故わざわざ区役所まで取りに來させるのか、従来どおり郵送に戻すよう」求めていました。決算委員会で、再度無料入浴券の配布は郵送に戻すよう求めたのに対し、「高齢者が窓口に來所するのは、大変との要望が多いため来年度から郵送に変更する予定です」と変更されることになりました。

高齢者の生きがい シルバーの仕事奪うな

区立の駐輪場(田町駅、品川駅)の管理・運営は、港区シルバー人材センターに委託しています。しかし、十一月からスタートする白金高輪駅は区外の管理会社に委託してしまいました。シルバー人材センター関係者は「駐輪場の仕事は高齢者にむいている。白金高輪駅で仕事ができると喜んでいて、高齢者が多かったのに」と今回の区のやり方にやりきれない気持ちを表わしています。

聞き取りにくい防災 無線、対策を約束

九月四日の集中豪雨の際、雨量警戒放送が防災無線で流されました。区には放送直後から「何の放送だったか分からない」の苦情・問い合わせが殺到しました。万一の場合に、災害を最小限にするために行う情報提供、避難勧告・指示などが、逆に不安をあおつたり、役に立たないのでは、区民の生命・財産・生活を守ることは出来ません。党区議団はこれまでも議会審議、毎年の予算要望などで防災無線の難聴解消を早急にと

求めてきました。今決算審議でも「各戸対応を含め緊急の改善」を求めました。理事者は「難聴対策は防災無線システムをデジタル方式に変更し、解消に取り組み」と答弁しました。



新潟中越地震、台風・豪雨災害 くぼた光前都議、被災者支援に全力

くぼた前都議は党区議団などと、地下鉄泉岳寺駅前、白金台駅前、白金高輪駅前、JR田町駅前など区内各地で新潟県中越地震、台風・豪雨の被災者を支援するため、募金活動に取り組んでいます。「共産党さん、「苦労さん」「テレビを見てみると、涙が止まらない」などと声をかけ、どこでも多くの区民が訴えに応じています。



「救援募金」を訴えるくぼた前都議と星野区議 = 10月27日、地下鉄・白金高輪駅前

積立金が883億円と史上最高額に 豊かな財政を区民のために使う 当たり前の区政運営を

港区は、財政状況を示す各種の指標から、区の財政は「盤石」との認識を示しています。毎年毎年大幅な黒字が生まれ、積立金も八八三億円(一〇月現在)と、区政史上最高額になっています。その一方、国民健康保険料の滞納世帯の増加、生活保護世帯の増加、小・中学生の就学援助認定者の増加など、区民生活の悪化が進行しています。党区議団は決算委員会の中で、全国トップレベル

